

国際大学目指し改革進める



高崎経済大学長 吉田 俊幸氏

2007年に開学50周年を迎えた高崎経済大は、現在2学部5学科、大学院も設置され学生数4000人の大学となった。1996年には全国初の地域政策学部を設立。地域に根差した知の拠点として歩み続けている。地域・国際化をキーワードに教育・研究内容の深化を進める同大に、4月、新教室棟がオープンする。今後の60年、100年に向けて新たな歩みを進め出した同大の吉田俊幸学長に今後の方向と新施設について聞いた。

連携深め地域と発展

大きく変わる社会的役割

開学50周年を迎えた2007年8月に25代学長に就任された吉田俊幸学長は、開学から1年半が過ぎた。創立時は高度経済成長期であり、自主、自立を伝統としてきた。大学の地域と全時代を迎え、社会と学生のニーズも変化しました。それに伴い、本学も、教育・研究機関として求められる指導内容や役割が大きく変わるべき時代になりました。教育内容は専門的知識だけでなく、基礎教育や進路指導も含めた学びや生き方を学生に教える必要が出てきました。また、大学の卒業生は、社会で活躍し、地域社会を盛り立て、大学の発展に貢献し、地域に貢献し、地域とともに発展していく。『知の拠点』としての役割であることが求められる時代になってきた。就任以来、吉田学長は「知の拠点、活性化の拠点」をキーワードに、大学を「知の拠点、活性化の拠点」に育てていくことを目指しています。『知の拠点』としての役割であることが求められる時代になってきた。就任以来、吉田学長は「知の拠点、活性化の拠点」をキーワードに、大学を「知の拠点、活性化の拠点」に育てていくことを目指しています。



4000人の学生が学ぶキャンパス

を設定、いずれも10〜20人の少人数制の講義形式で、最も重視しているのが国際化を視野に入れた英語教育です。地域政策学部は数年前からTOEICを全員受験していましたが、来年度からは経済学部にも導入、試験に対応した能力別・少人数制のクラス編成で指導し、ネイティブの先生も多数指導しています。来年度はパソコンを使って自宅学習できるラーニングシステムを両学部で実施します。大学の英文科を除く全てのにもトップクラスの教育内容にしたい。情報教育の面で4000人の学生全員がメールアドレスを持ち、約500台のパソコンをそろえるなど設備の充実も図っています。こうした専門教育・国際化・情報化の充実が教育面での大きな改革です。就職活動は、上毛新報社と連携したセミナーやキャリアカウンセリング、同窓会の協力による模擬面接、教職員が各企業を訪問して行う情報収集などの支援をしています。全学生4000人のうち3000人が親元を離れて下宿生活を送っています。学生が孤立しないよう、なかなかにワンセンシステムを強化し、学生を支援していきます。毎月、同窓生との環境相談会を開催し、相談窓口のカウンセラーや教職員の間で情報交換を重ねて学生の心のケアにも努めています。『就職支援』をキーワードに「市場と経済」をキーワードに「市場と経済」の根幹の部分を含め、大学の



環境整え知の拠点に

新教室棟(7号館)完成



高川沿いに建てられた新教室棟はやさしいベージュ色の建物

太陽光発電を設置 2006年に地域政策学部観光政策学科を設置したことなどに伴う教室や食堂の不足を解消、教育内容の充実を図るために建設していた新教室棟(7号館)が、完成した。キャンパス左奥にあり、川を望む同館は、鉄骨造り6階建て、延べ床面積は約5670平方メートル。外壁は雨で汚れが落ちる性質を持ったタイル張り、屋上には最大出力30の発電が、

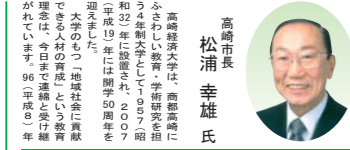


大型スクリーンを使って講義を行う階段教室。内部の壁は音を吸収する素材を使っている

太陽光発電を設置 2006年に地域政策学部観光政策学科を設置したことなどに伴う教室や食堂の不足を解消、教育内容の充実を図るために建設していた新教室棟(7号館)が、完成した。キャンパス左奥にあり、川を望む同館は、鉄骨造り6階建て、延べ床面積は約5670平方メートル。外壁は雨で汚れが落ちる性質を持ったタイル張り、屋上には最大出力30の発電が、

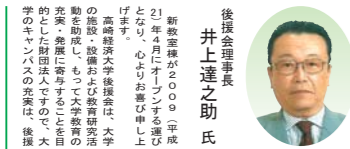


大型スクリーンを使って講義を行う階段教室。内部の壁は音を吸収する素材を使っている



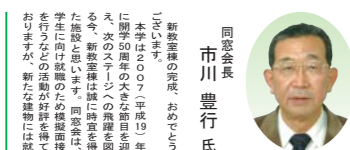
松浦 幸雄氏

高崎経済大学は、商高時代にふさしい教育、学術研究を担う44制大として、1957年開学、32年に改組され、2007年(平成19年)に開学50周年を迎えました。大学は「地域社会に貢献できる人材の育成」という教育理念は、今日まで連続と受け継がれています。96(平成18)年



井上達之助氏

新教室棟が2007年4月にオープンする運びとなり、心よお喜び申し上げます。高崎経済大学後援者は、大学の発展、設備よび教育研究活動を支援し、もって大学の学術的・社会的発展に寄与することを目的とした財団法人です。大学のキャンパスの充実、後



市川 豊行氏

新教室棟の完成、おめでとう。本学は2007年(平成19年)に開学50周年を迎える。新教室棟は、11階建ての建物で、1階は講義室、2階は講義室、3階は講義室、4階は講義室、5階は講義室、6階は講義室、7階は講義室、8階は講義室、9階は講義室、10階は講義室、11階は講義室。新教室棟は、11階建ての建物で、1階は講義室、2階は講義室、3階は講義室、4階は講義室、5階は講義室、6階は講義室、7階は講義室、8階は講義室、9階は講義室、10階は講義室、11階は講義室。

一層の前進に挑戦を